大仙市立西仙北中学校

羽ばたこう　立志の丘から

平成２８年度　学校通信

平成２９年２月１３日
No.３６

大綱引き　始めての「案内人」活動好評！

10日は、国の重要無形民俗文化財に指定されている「刈和野の大綱引き」でしたが、夏にオープンした「ＨＵＢスペース」を拠点に、本校生徒有志が、大綱引きの「案内人」活動に初めて挑戦しました。

ＨＵＢスペースに温かいお茶等を準備し、観光でいらっしゃった方々に、休憩所等として活用してもらうとともに､「マンガ刈和野の大綱引き物語」を参考に、大綱引きの始まりや伝統の継承等について、案内をしました。また、花火会場周辺には、ミニかまくら作りを行うなどの協力もしました。

これまでの伝統文化の調べ学習や綱よい・綱のばし体験に加え、袢纏を身にまとった「案内人」活動は、また、伝統文化の継承者としての意識を高めたように思います。”故きを温ねて新しきを知る”、「大仙市の未来は私たちがつくる」、中学生の活動に皆が元気づけられます。

今年は１・２年生全員が、大綱保存会からいただいた半纏を身にまとい綱のばしに参加しました。フレッシュな緑が街を明るくするように、神事の後の餅まきでは大いに盛り上がりました。雪の舞う中でしたが、しっかりと自分たちの仕事をこなしました。五百年続く伝統です。今後地域を担っていく存在として、一人一人が自覚をもって参加していました。

綱のばしチームとは別に、当日行われる花火会場のミニかまくら作りチームも頑張りました。１時間ちょっとの作業でしたが100個のミニかまくらを製作！チームワークのよさが出ていました。

その後、有志のボランティアでＨＵＢスペースを「大綱案内所」として限定オープンしました！１・２年生の生徒会執行部、そして有志17名で、大綱引きを盛り上げるべく様々なことに取り組みました。

製作したミニかまくへの点灯作業。なんと美しい光景でしょうか！点灯作業をした男子生徒も、この美しさには心を奪われたようでした。この場所で花火を鑑賞した人たちは忘れることのできな

い思い出になったはずです。地道な作業ですが、人に感動してもらったこと、その感動を共有できたことは本人たちにとっても一生の思い出になることでしょう。本当に素晴らしい空間をつくりあげていました。さらには、餅つきにも参加し、会場を大いに盛り上げていました。

ＨＵＢスペースでの活動。大綱案内所では女子生徒が観光客への接待です。函館からの観光客やなんと香港からの観光客まで、世界各地から様々なお客さんに来ていただき、大綱引きの歴史を知ってもらいました。香港から来たお客さんと英語で会話したり、イベントの紹介や大綱引きの歴史を教えたり、おもてなしの心で対応しました。はじめは、恥ずかしそうにしていた生徒も、次第に慣れてきて積極的に接する姿も見られました。

今年初めて開設した「休憩所&案内所」。道行く人が興味をもってどんどん入ってきてくれました。見回りの方々、友達を連れた卒業生たち、初めて刈和野に来た観光客。中学生は普段触れ合うことのない人との交流を楽しんでいるようでした。

７時からの花火。大綱案内所から見る花火もよかったです。会場のミニかまくら作りを経験しているだけに、多くの人の力を感じる花火でした。

西仙北のよさを多くの人に知ってもらおう！来てくれた人を笑顔にしよう！また来年も来て欲しい。そういった思いが随所に見られました。今回初めて実施した休憩所「大綱案内所」、本当に大好評でした。お客さんからは「また遊びにくるね！」という嬉しい言葉もいただきました。

「来年はどんな面白いことをしようか・・・」

今年経験したボランティアの生徒たちは、口々に「また来年もやりたいです！」と話していました。

参加した佐々木くんは「普段できないいろんなことを経験できた。どれも初めてで本当に面白かった。またやりたいです！」と笑顔で話してくれました。今後どうしていくか、生徒会や全校のみんなと考えていこうと思います。

綱引き後、綱引きに参加した生徒の多くは、ＨＵＢスペースに立ち寄り、保護者の迎えを待ったり、屋台で買ったものを食べたり、綱引きの感想を話したりしていました。西仙北には私たちがつくったＨＵＢスペースがある。みんなの笑顔や気軽に入って来る様子から、自分たちの「居場所」があることって、本当に大切なんだと実感しました。

最後に、大綱案内人として活躍してくれた生徒会執行部や有志ボランティアの皆さん、本当にお疲れまでした。また、この案内所の活動に賛同し、お手伝いいただいた鈴木さん、支所の皆様に感謝したいと思います。本当にありがとうございました。西仙北の「明るい未来」を見ることのできた、大変有意義な一日となりました。

ジョヤサ―の！！

小学6年生一日体験入学

７日は、来年度本校に入学する児童が、少しでも中学校生活に慣れ、入学後のギャップを和らげられるように、また、実際の中学校の授業を体験して、学習意欲の向上を図ったり、不安の解消となるように質問したりする体験入学を行いました。

当日は、全体のオリエンテーションの後、中学生の授業を参観、その後、二クラスに分かれて、数学と英語の授業体験をしました。また、昼食をとった後は、体育や質問コーナなどを設け、中学校生活への期待をふくらませてもらいました。質問には、１・２年生の生徒会執行部の皆さんが丁寧に答えてくれました。

６年生の皆さんからは、「英語の授業がわかりやすかったです。中学校に来て早く勉強したいです。小学校とそんなに変わりなくて過ごしやすかったです。中学校の勉強は難しくなるようなので、小学校の勉強を頑張りたいです。小学校と中学校はつながっていると思いました。中学校は小学校の勉強が基礎になっていると思いました。楽しかったです。」などの感想をいただきました。

話を聞くときの真剣な瞳、皆で活動しているときの笑顔が印象的な６年生の皆さんでした。春からは、優しい先輩、先生方が、皆さんをお待ちしております。それぞれの夢の実現に向かって進んでいきましょう！